

男女砂浜乱交パーティー 夜と昼の 裸の浜辺 前編

男女が夏の昼下がり、小さなカフェに集まっていた。

場所は海の近くのパフェの美味しいところ……。

男女は全員それぞれたくさんのエッチな経験を経ている。

経験ある男女たちが

解放のためにここへ休みにやってきたのである。

「えーっとなと・・・・ここであってたっけ??」

ハッピーな気分で一緒にここへやってきたのは学生時代からの女友達であるユリハとモナ。

手を繋いでいる。

カフェへは既に何人か集（つど）っている。

意思は疎通している・・・・・・・・。

二人とも超ミニスカートのムッチムチ太ももである。

「・・・・・・・・するんだよね」

入り口のドアをくぐって

少しスカートをずらして真っ白の下着を確認してみた。

ちゃんと密着している・・・。

二人とも上の服の色は薄いピンク。

胸の大きさがはっきりしている。

太ももは健康的。

夏の海の上の空、太陽の光が窓を通りま
っすぐそこへ当たっている。

「ここって楽しそうじゃん！！あとで海にも行ってみようよ！！」

木々揺れる爽やかな海近くの自然。

浜辺は開放され河口も水面が光っている。

スマホを手に持ち楽しみのあまり少し小走りでこのカフェへやってきた男女

たち。

海の近くにある海小屋の側壁にかかっている浮き輪。

男女たちが店内へ入ってきてから少し時間が経過している・・・・・・。

「あとでっっ！！！！あとでっ！！だよ
ね！！」

女子たちは胸を持ち上げる。

ホットパンツを脱ごうとしている。下に水着。

浮き輪遊びは青い海の沖。

後からの楽しみだ。

口から息を吹き込む。

空気で膨らませた浮き輪での裸遊び！！！！

すると・・・・・・・・

弾む女子たちの一方でカフェの熟女の店主はぼんやりとテレビに目を向けている。

「今日のアニメ・・・なんだかスカートの女の子の声が違うわね」

客は他にもカウンターの隅っこで漫画を読んでいるなどチラホラいる。

女子たちはヘアゴムで結んでいた髪を緩めた・・・・・・・・。

夏らしいおっぱいの側面が露わとなる。

熟女店主が透明ビンに入れたアイスコーヒーを出した。

氷が入っている。

「あとで海に行くのね？」

窓の外を見て微笑んだ。

男子も女子もチラッと腰を気にしている。

これからたっぷりエッチするための・・・。

浮き輪を手にとってレジで小銭で購入。

海岸へ向かった。

沖で泳ぐのってちょっと危ないよね。

女子は胸をふりふりさせて叫ぶ。

ばたつかせて！！

足が水の中でバタバタしている。

浮き輪を持ちながら。

太陽がまぶしい。

その少し前・・・・・・・・。

女子二人は壁に掛けられた時計に目を
やった。昔ながらの・・・形は丸い。

大きめの丸い振り子がついている。

時刻は昼を少し回ったところ。

「ここは自動車も通るの・・・・・・・・」

海岸道を歩きながら話す。

・・・・・・・・結構騒がしいんだよね。

今や夜のエッチしかない空間。

爽やかな側面はほとんどないが・・・。

ひたすらエッチなビーチ。

夏の海辺には既に海水浴用のテントが
張られている。

もちろん裸の男女たちのセックスの場である。

（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）